

令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

音 楽 理 論

初等教育教員養成課程
芸術・実技教育プログラム（音楽系科目）

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に記入すること。
2. 解答紙には、必ず受験番号を記入すること。

〔1〕 次の間に答えなさい。

(問 1) 次の(1)～(3)の2音間の音程を答えなさい。

(1) (2) (3)



(問 2) 次の(1)～(2)に示された音の上方に, 指示された音程関係になる音を全音符で記入しなさい。答えは解答紙の解答欄(五線)に記入すること。必要なら臨時記号をつけてよいが, 黒い音符に変化記号を書き加えてはならないものとする。

(1) (2)



短3度

増2度

〔2〕 以下の(1)～(2)に示された調の音階の上行形を, 調号を用いて, 解答欄に指示された譜表に全音符で書きなさい。ただし, 短調は和声短音階とする。

- (1) イ短調の下属調
- (2) 嬰ハ音を第6音とする長調

〔3〕 次の問に答えなさい。

(問 1) 次の(1)～(3)に指定された種類の和音の基本形ができるように、それぞれの解答欄の黒い音符を根音として、その上方に全音符で音を書き足しなさい。ただし、黒い音符に変化記号を書き加えてはならないものとする。

- (1) 長三和音
- (2) 減三和音
- (3) 属七の和音

(問 2) 次の(1)～(2)の和音がそれぞれ所属することのできる調を、下の選択肢の中から1つずつ選び、その記号を解答欄に書きなさい。ただし短調は和声短音階とする。

(1) (2)



【選択肢】

- a. 変ニ長調 b. ト短調 c. ハ短調
- d. 変ロ短調 e. 嬰ヘ長調 f. ホ短調

〔4〕 次に掲げる曲全体を、長2度高く、高音部譜表に調号を用いて移調しなさい。



〔5〕 次に掲げる旋律は、何分の何拍子で、何調であると判断できるか。それぞれの拍子と調を解答欄に書きなさい。



[6] 次の(1)～(5)の楽語の意味を解答欄に書きなさい。

- (1) ritardando
- (2) più mosso
- (3) morendo
- (4) Allegro
- (5) Largo